

第1期末 (2015年11月20日)	
基準価額	10,017円
純資産総額	17億円
騰落率	0.2%
分配金	0円

# <購入・換金手数料なし> ニッセイ国内債券 インデックスファンド


追加型投信／国内／債券／インデックス型

## 交付運用報告書

作成対象期間：2015年1月29日～2015年11月20日

第1期 (決算日 2015年11月20日)

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

 **0120-762-506**(コールセンター)

受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです。

 <http://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

NISSAY  
ASSET MANAGEMENT

東京都千代田区丸の内1-6-6

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「<購入・換金手数料なし>ニッセイ国内債券インデックスファンド」は、このたび第1期の決算を行いました。

当ファンドは、主に「ニッセイ国内債券インデックスマザーファンド」受益証券への投資を通じて、実質的にNOMURA-BPI総合の動きに連動する投資成果を目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも是非ご継続頂き、いっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

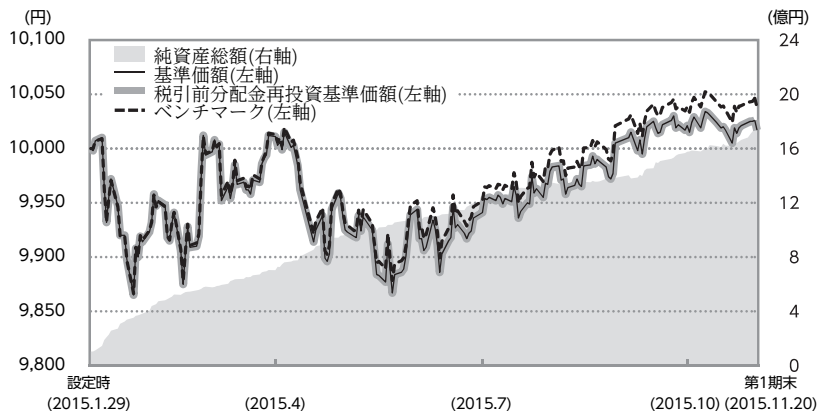
- 当ファンドは、投資信託約款において、運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めています。上記ホームページの「基準価額一覧」等から当ファンドのファンド名称を選択することにより、「商品ページ」において、運用報告書（全体版）をダウンロードすることができます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

# <購入・換金手数料なし>ニッセイ国内債券インデックスファンド

運用経過

(2015年1月29日から2015年11月20日まで)

## 基準価額等の推移



設定時	10,000円
第1期末	10,017円
既払分配金	0円
騰落率 (分配金再投資ベース)	0.2%

- (注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) ベンチマークはNOMURA-BPI総合で、設定時を10,000として、指数化しています。NOMURA-BPI総合とは、日本国内で発行される公募債券流通市場全体の動向を表すために、野村証券株式会社によって計算、公表されている投資収益指数で、野村証券株式会社の知的財産です。野村証券株式会社は、当ファンドの運用成果等に関し、一切の責任を負いません。以下同じです。

## ■基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は、国内金利が期を通して見ると横ばいとなったことから、同様の動きとなりました。

10年国債金利は、国債入札をめぐる警戒感から不安定に上下する展開がしばらく続きましたが、6月になると欧米における金利上昇(債券価格は下落)を受けて急上昇したため、基準価額も下落しました。しかしその後は、ギリシャ債務問題の再燃や中国株の下落等を受けて金利が低下し、中国景気の失速懸念や日銀の国債買い入れオペによる需給による下支え要因等を背景に低下基調をたどったことから、基準価額は上昇して当期末を迎えました。

# <購入・換金手数料なし>ニッセイ国内債券インデックスファンド

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第 1 期		項目の概要
	2015年1月29日~2015年11月20日		
	金額	比率	
信託報酬	27円	0.271%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は9,961円です。
(投信会社)	(12)	(0.123)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(販売会社)	(12)	(0.123)	
(受託銀行)	( 3)	(0.026)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	1	0.008	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(監査費用)	( 1)	(0.008)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
合計	28	0.280	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

# <購入・換金手数料なし>ニッセイ国内債券インデックスファンド

## 最近5年間の基準価額等の推移



(注) ベンチマークは、設定時を10,000として指数化したものです。

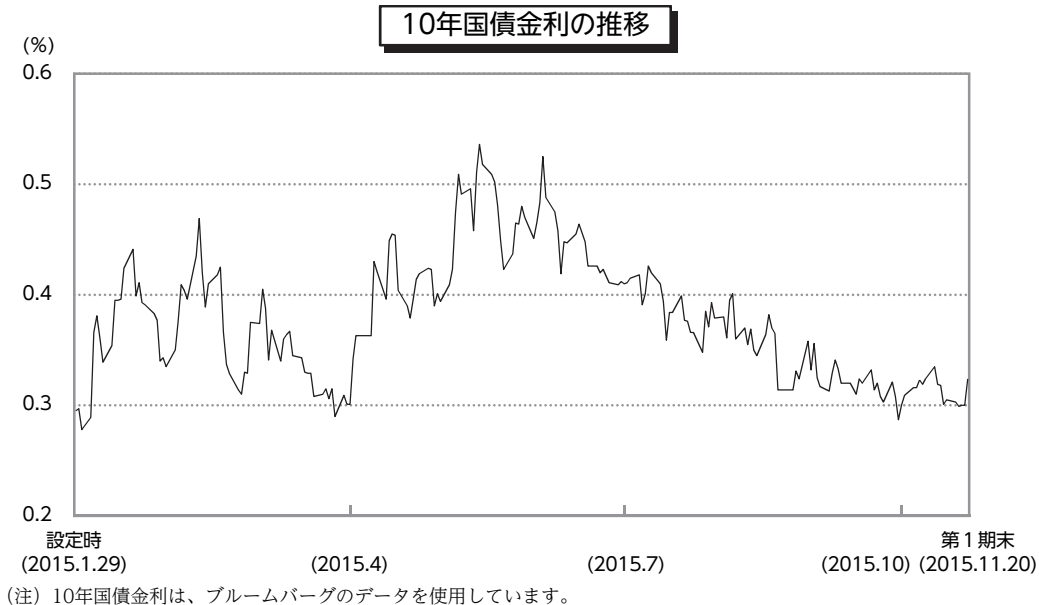
決算日		2015年1月29日	2015年11月20日
基準価額 (分配前)	(円)	10,000	10,017
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	0
税引前分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	0.2
ベンチマーク騰落率	(%)	—	0.4
純資産総額	(百万円)	103	1,758

(注1) 当ファンドの設定日は2015年1月29日です。

(注2) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

# <購入・換金手数料なし>ニッセイ国内債券インデックスファンド

## 国内債券市況



設定時を0.3%でスタートした10年国債金利は、国債入札をめぐる警戒感から不安定に上下する展開がしばらく続きましたが、6月になると欧米における金利上昇を受けて0.5%台まで急上昇しました。しかしその後は、ギリシャ債務問題の再燃や中国株の下落等を受けて金利は低下し、8月に入ると中国人民元の基準値切り下げによる中国景気の失速懸念や、日銀の国債買い入れオペによる需給サポート要因に加え、国内の追加金融緩和観測等を背景に低下基調をたどり、結局、期を通じて見ると、10年国債金利はほぼ横ばいで当期末を迎えました。

# <購入・換金手数料なし>ニッセイ国内債券インデックスファンド

## ポートフォリオ

### ■当ファンド

マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保つ運用を行いました（ただし、当ファンドから信託報酬等の費用を控除する関係などから、当ファンドの収益率はマザーファンドとは必ずしも一致しません）。

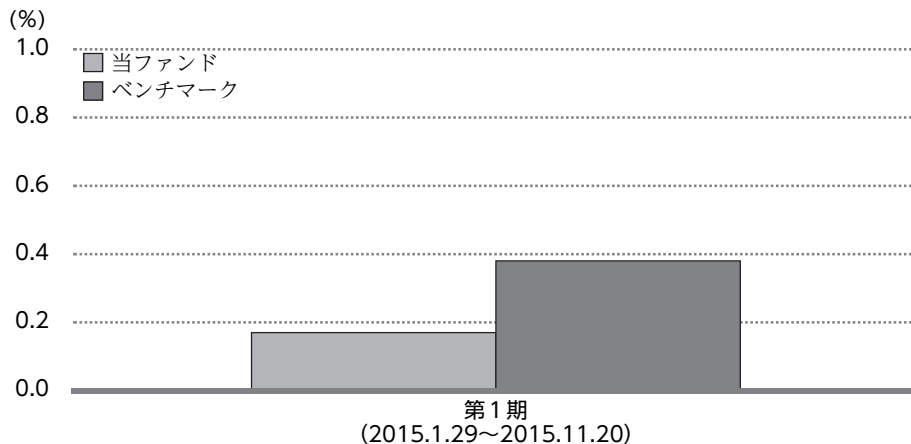
### ■マザーファンド

ニッセイアセットマネジメント株式会社と株式会社ニッセイ基礎研究所が共同開発したクオンツモデルを利用して、ポートフォリオのデュレーション（注）、残存期間別構成比（短期・中期・長期・超長期別の構成比）等を調整し、ベンチマーク（NOMURA-BPI総合）の動きに連動する投資成果を目標に運用を行うファンドです。

当期は上記クオンツモデルに基づき、ポートフォリオのデュレーション、残存期間別構成比がベンチマークに対しおおむね中立となるよう、適宜売買を実施しました。

（注）デュレーションとは、債券投資におけるリスク度合いを表す主要な指標の一つで、金利変動に対する債券価格の反応の大きさ（リスクの大きさ）を表します。デュレーションが長いほど、金利変動に対する債券価格の反応は大きくなります。

## ベンチマークとの差異



当期の基準価額騰落率は+0.2%となり、ベンチマーク騰落率（+0.4%）を下回りました。

# <購入・換金手数料なし>ニッセイ国内債券インデックスファンド

## 分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案した結果、見送らせていただきました。  
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2015年1月29日 ～2015年11月20日
当期分配金（税引前）	—
対基準価額比率	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	59円

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針

### ■当ファンド

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的にNOMURA-BPI総合の動きに連動する投資成果を目標に運用を行います。

### ■マザーファンド

引き続き、クオンツモデルに基づき、NOMURA-BPI総合の動きに連動する投資成果を目標に運用を行います。

# <購入・換金手数料なし>ニッセイ国内債券インデックスファンド

## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

#### ■組入ファンド

	第1期末
	2015年11月20日
ニッセイ国内債券 インデックスマザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

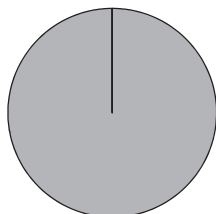
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

#### ■純資産等

項目	第1期末
	2015年11月20日
純資産総額	1,758,381,964円
受益権総口数	1,755,449,005口
1万口当たり基準価額	10,017円

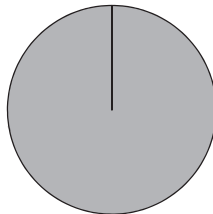
(注) 当期間中における追加設定元本額は2,723,691,189円、同解約元本額は1,072,197,252円です。

#### ■資産別配分



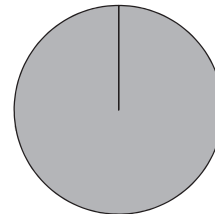
親投資信託受益証券  
100.0%

#### ■国別配分



日本  
100.0%

#### ■通貨別配分



円  
100.0%

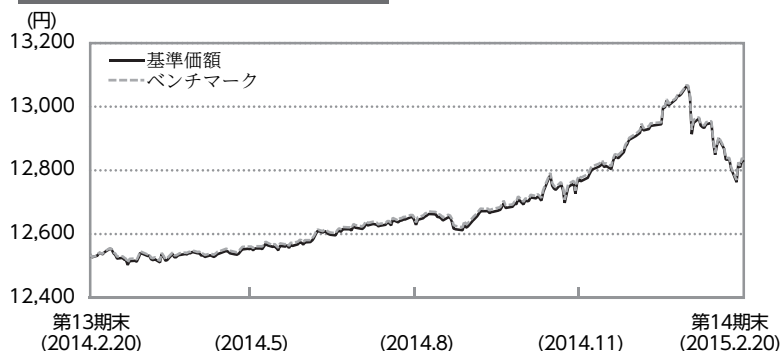
(注) 資産別・国別・通貨別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。



# <購入・換金手数料なし>ニッセイ国内債券インデックスファンド

## ニッセイ国内債券インデックスマザーファンドの概要

### ■基準価額の推移



(注) ベンチマークはNOMURA-BPI総合で、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。NOMURA-BPI総合とは、日本国内で発行される公募債券流通市場全体の動向を表すために、野村證券株式会社によって計算、公表されている投資収益指数で、野村證券株式会社の知的財産です。野村證券株式会社は、当ファンドの運用成果等に関し、一切の責任を負いません。

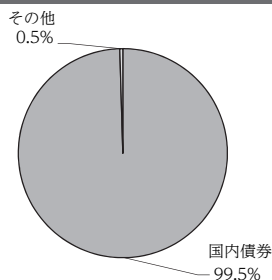
### ■上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
第26回 利付国債(30年)	円	7.7%
第117回 利付国債(20年)	円	7.5
第125回 利付国債(20年)	円	7.5
第292回 利付国債(10年)	円	7.5
第72回 利付国債(20年)	円	7.4
第107回 利付国債(5年)	円	6.6
第291回 利付国債(10年)	円	6.3
第96回 利付国債(5年)	円	6.1
第321回 利付国債(10年)	円	5.3
第338回 利付国債(2年)	円	4.4
組入銘柄数	30	

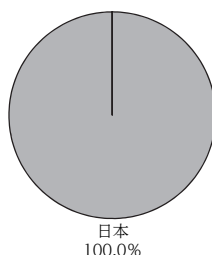
### ■1万口当たりの費用明細

当期(2014年2月21日～2015年2月20日)における費用はありません。

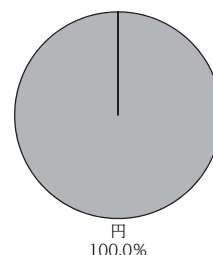
### ■資産別配分



### ■国別配分



### ■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものです。費用項目については2ページの注記をご参照ください。

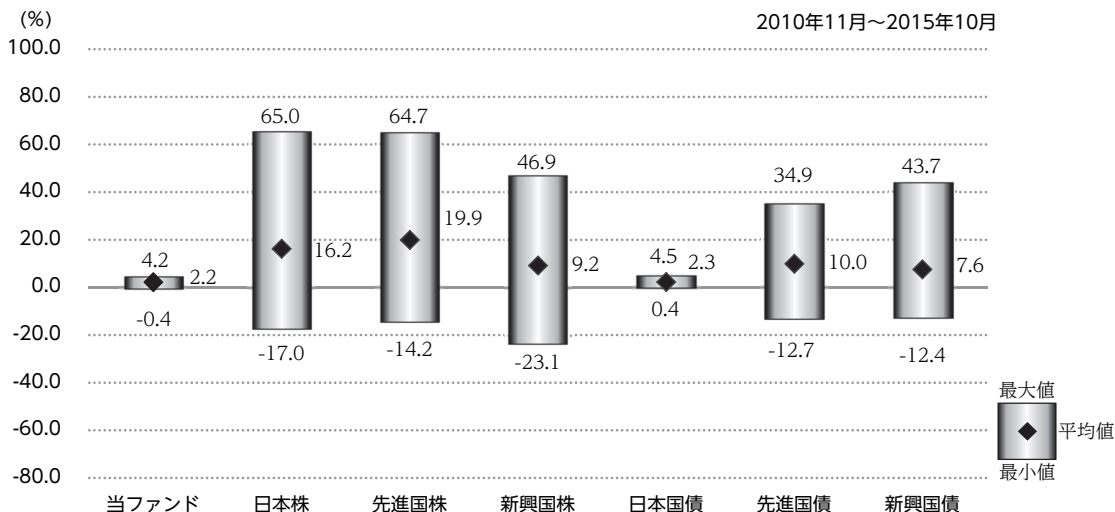
(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2015年2月20日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

# <購入・換金手数料なし>ニッセイ国内債券インデックスファンド

## 参考情報

### ■代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1) 上記は、当ファンドの騰落率(税引前分配金再投資基準価額騰落率)と代表的な資産クラスの騰落率を比較したものであり、各資産クラスは当ファンドの投資対象を表しているものではありません。

(注2) 2010年11月～2015年10月の5年間における1年リターンの平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年分に満たないため、設定日以前のデータはファンドのベンチマークを用いて騰落率を算出しています。したがって、すべてがファンドの実績ではありません。

### <代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数>

- 日本株・・・TOPIX(東証株価指数)(配当込み)
- 先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)
- 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)
- 日本国債・・・NOMURA-BPI 国債
- 先進国債・・・シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド(円ベース)

- ・すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・海外の指数は、「為替ヘッジなし(対円)」の指数を採用しています。

・TOPIX(東証株価指数)は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、株式会社東京証券取引所が有しています。

・MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

・MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

・NOMURA-BPI 国債とは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、当ファンドの運用成果等に関し、一切責任を負いません。

・シティ世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCが開発した債券指数で、著作権、商標権、知的財産権、その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドは、JPモルガン社が算出する債券インデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。

## お知らせ

### ■運用体制の変更について

運用部門の担当役員2名（取締役執行役員CO-CIO、執行役員CO-CIO）のうち1名（取締役執行役員CO-CIO）が担当をはずれました。

なお、残る1名については同日付で執行役員CO-CIOから取締役執行役員CIOに昇任しています。  
(2015年3月25日)

# <購入・換金手数料なし>ニッセイ国内債券インデックスファンド

## 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／国内／債券／インデックス型	
信 託 期 間	無期限	
運 用 方 針	主にニッセイ国内債券インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的にNOMURA-BPI総合の動きに連動する投資成果を目標に運用を行います。	
主要運用対象	<購入・換金手数料なし> ニッセイ国内債券インデックスファンド	ニッセイ国内債券インデックスマザーファンド受益証券
	ニッセイ国内債券インデックスマザーファンド	国内の公社債
運用方法	<購入・換金手数料なし> ニッセイ国内債券インデックスファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資は転換社債の転換および新株予約権の行使による取得に限るものとし、投資割合は信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・投資対象資産は、本邦通貨建またはユーロ円建表示であるものに限ります。
	ニッセイ国内債券インデックスマザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・投資対象資産は、本邦通貨建またはユーロ円建表示であるものに限ります。
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。	